

2015年3月期決算説明会



2015年6月3日
中央化学株式会社
(JASDAQ スタンド:7895)

- (I) 2015年3月期の決算実績及び
2016年3月期の決算見通し**

- (II) 現状の事業環境**

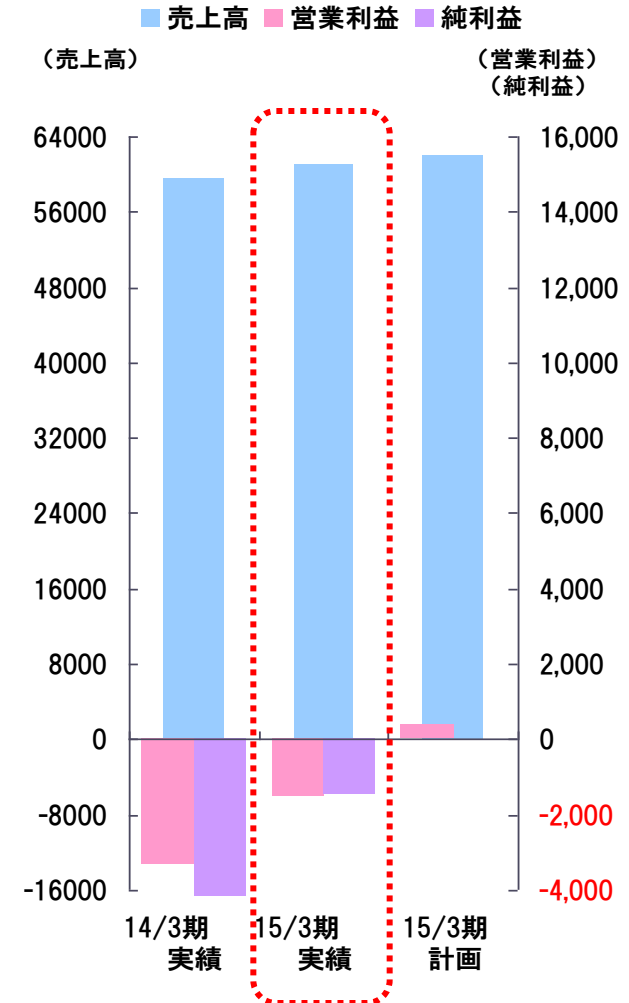
2015年3月期の決算実績及び 2016年3月期の決算見通し

 中央化学株式会社

15/3期 連結決算の実績

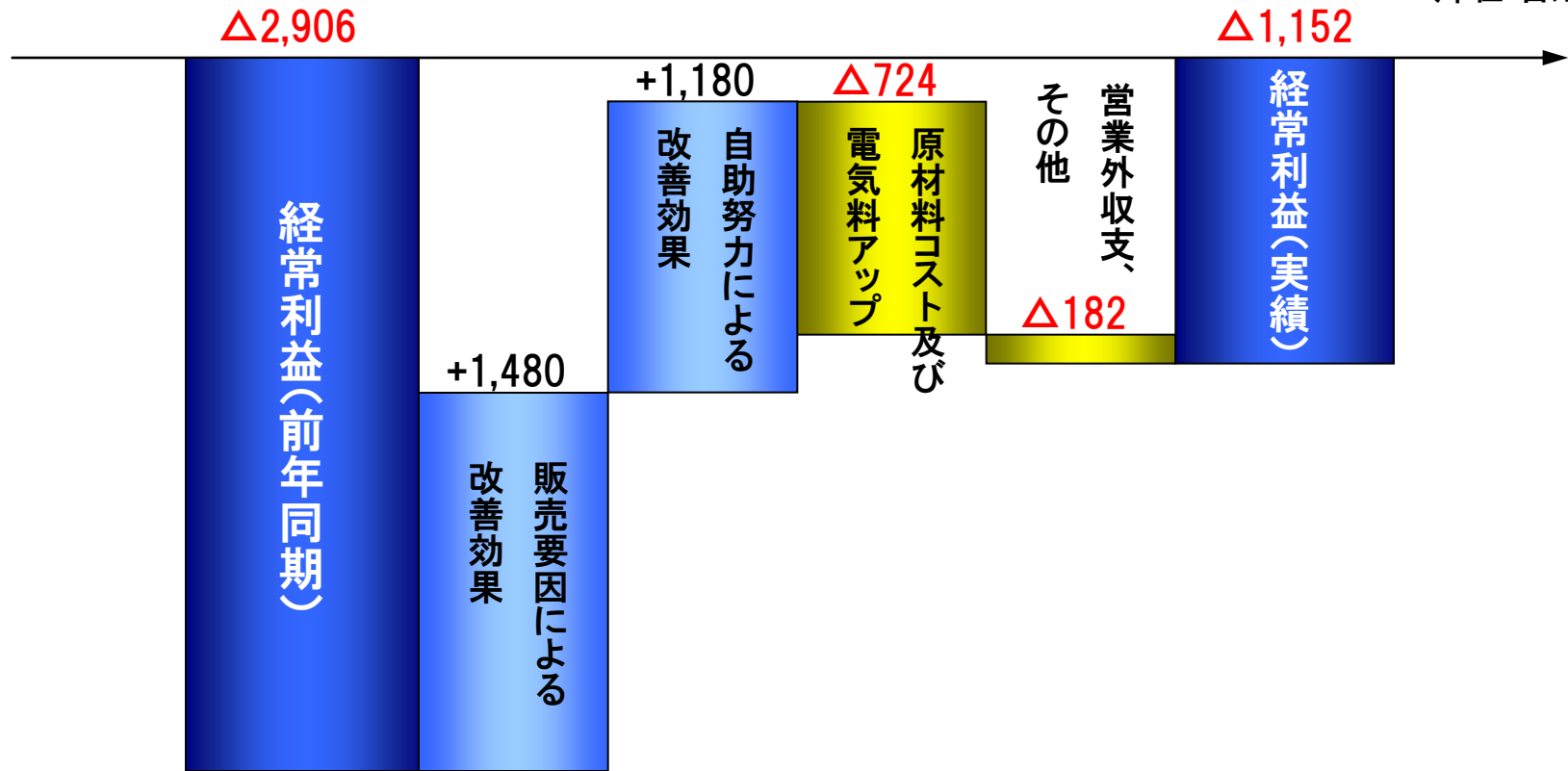
(単位:百万円)

	14/3期	15/3期			
	4~3月 実績 (構成比)	通期実績 4~3月 (構成比)	前期比 4~3月 <対比>	通期計画 (構成比)	計画比 <達成率>
売上高	59,525 (100%)	61,001 (100%)	1,476 <102.5%>	62,000 (100%)	△999 <98.4%>
売上総利益	9,478 (15.9%)	11,094 (18.2%)	1,616 <117.1%>	—	—
営業利益	△3,298 (-)	△1,519 (-)	1,778 <->	400 (0.6%)	△1,919 <->
経常利益	△2,906 (-)	△1,152 (-)	1,754 <->	100 (0.2%)	△1,252 <->
当期純利益	△4,256 (-)	△1,478 (-)	2,778 <->	0 (0.0%)	△1,478 <->



経常利益の増減分析(4～3月前年対比)

(単位:百万円)



2014年3月期
4～3月累計経常利益
△2,906百万円

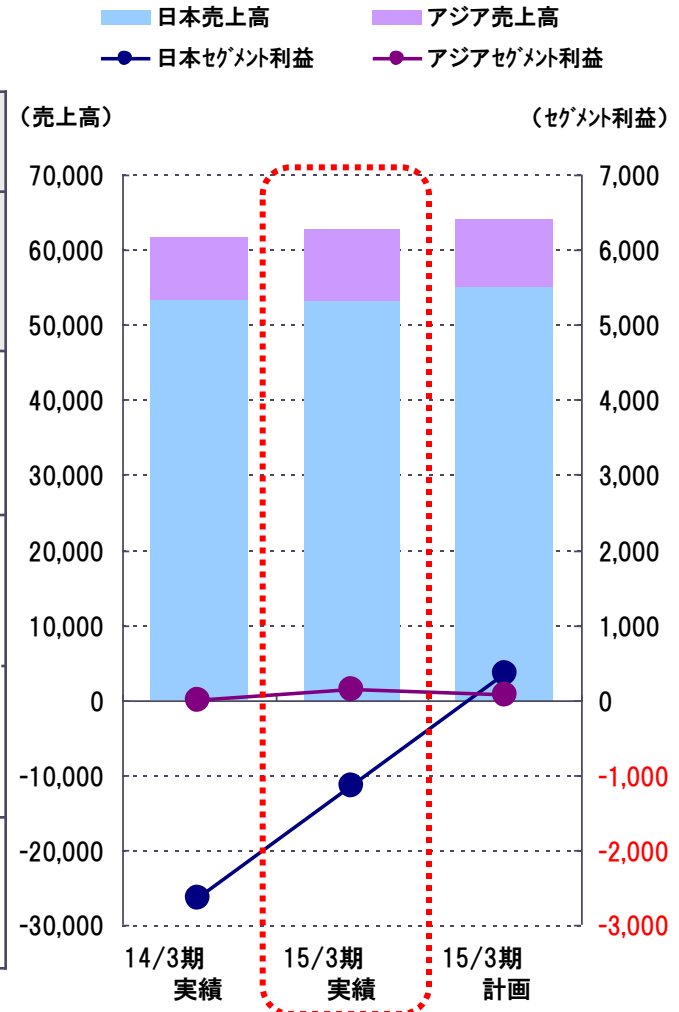
前年差異合計 1,754百万円

2015年3月期
4～3月累計経常利益
△1,152百万円

報告セグメントの売上高と利益

(単位:百万円)

		14/3期	15/3期			
		4~3月 実績	通期実績 4~3月	前期比 4~3月 <対比>	通期計画	計画比 <達成率>
日本	売上高	53,267	53,249	△18 <—>	55,135	△1,886 <96.6%>
	セグメント 利益	△2,633	△1,140	1,493 <—>	360	△1,500 <—>
アジア	売上高	8,483	9,341	858 <110.1%>	8,823	518 <105.9%>
	セグメント 利益	1	132	131 <—>	55	77 <240%>



※ セグメント利益(営業利益)

貸借対照表の実績

(単位:百万円)

	14/3期末	15/3期末	増減額
流動資産	25,218	23,020	△2,198
現金及び預金	4,084	3,189	△895
受取手形及び売掛金	10,421	9,484	△937
商品及び製品	6,277	6,227	△50
その他	2,098	1,982	△115
固定資産	20,549	19,688	△861
有形固定資産	19,595	18,639	△955
(リース資産・純額)	(4,594)	(4,069)	(△525)
無形固定資産	426	486	60
投資その他の資産	528	561	33
資産合計	45,768	42,708	△3,059
負債合計	35,529	34,639	△889
有利子負債残高	14,443	13,766	△676
(リース債務)	(4,884)	(4,335)	(△549)
純資産合計	10,239	8,068	△2,170
(自己資本比率)	22.4%	18.9%	—
負債純資産合計	45,768	42,708	△ 3,059

※百万円以下は切り捨て

キャッシュ・フローの実績

(単位:百万円)

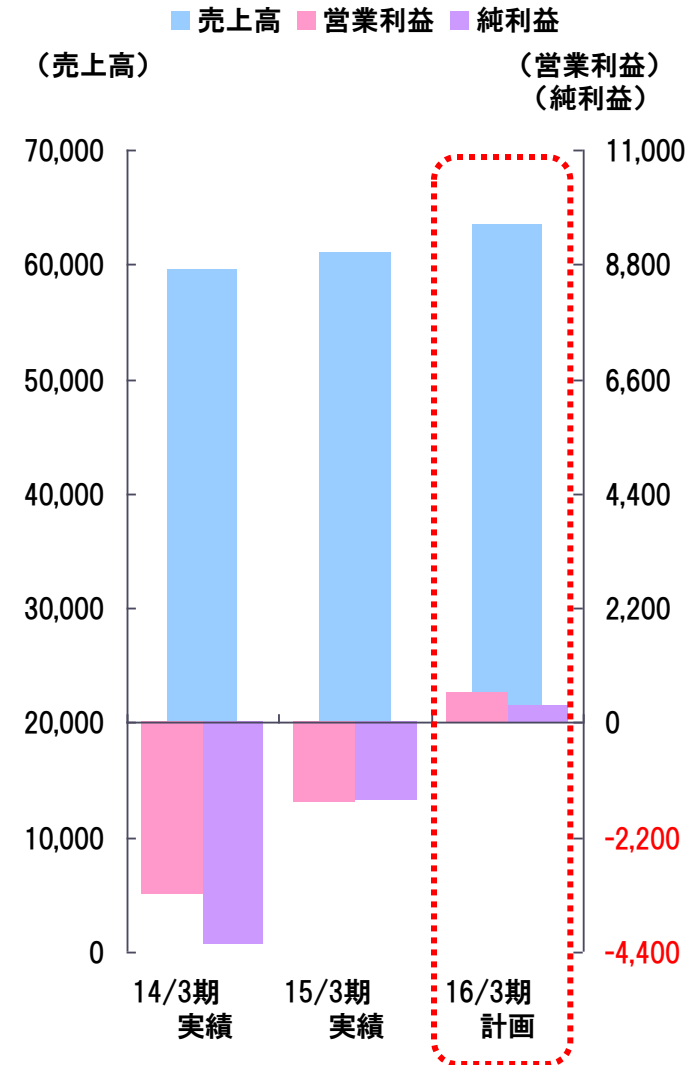
	14/3期 4～3月	15/3期通期 4～3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	△723	1,779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,307	△517
財務活動によるキャッシュ・フロー	81	△ 2,140
現金及び現金同等物に係る換算差額	179	224
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,770	△653
現金及び現金同等物の期首残高	5,607	3,836
現金及び現金同等物の期末残高	3,836	3,183

※百万円以下は切り捨て

16/3期 連結決算の見通し

(単位:百万円)

	14/3期	15/3期	16/3期	
	実績 4~3月 (構成比)	実績 (構成比)	計画 (構成比)	前期比 4~3月 <対比>
売上高	59,525 (100%)	61,001 (100%)	63,500 (100%)	2,499 <104.1%>
売上総利益	9,478 (15.9%)	11,094 (18.2%)	—	—
営業利益	△3,298 (-)	△1,519 (-)	600 (0.9%)	2,119 <->
経常利益	△2,906 (-)	△1,152 (-)	600 (0.9%)	1,752 <->
当期純利益	△4,256 (-)	△1,478 (-)	350 (0.6%)	1,828 <->

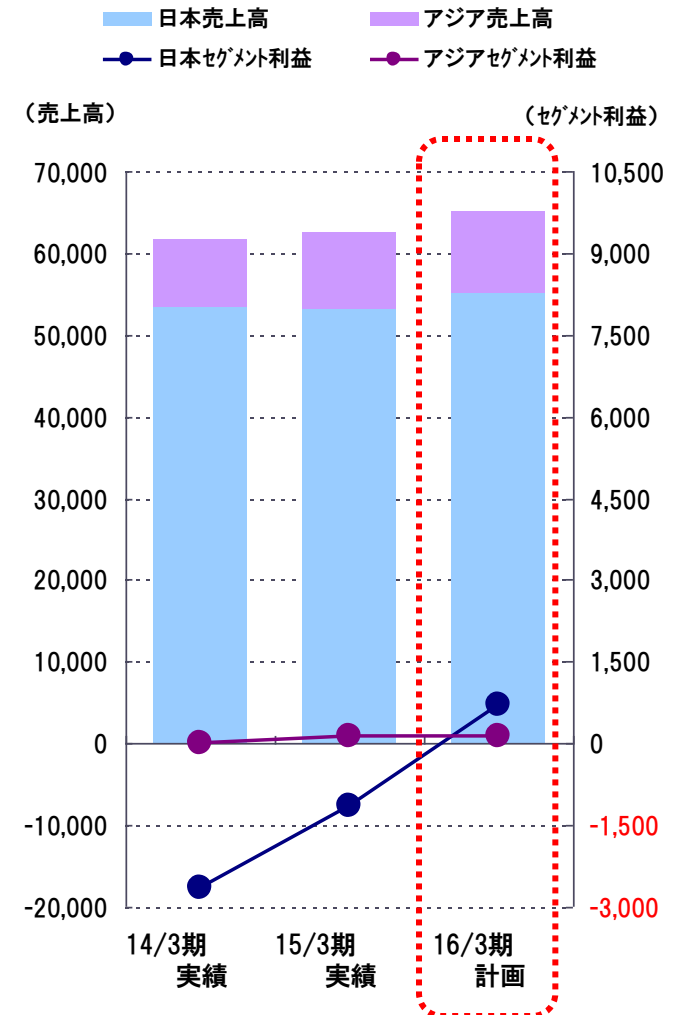


報告セグメントの売上と利益

(単位:百万円)

		14/3期	15/3期	16/3期	
		実績 4~3月	実績	計画	前期比 4~3月 <対比>
日本	売上高	53,267	53,249	55,000	1,751 <103.3%>
	セグメント利益	△2,634	△1,140	700	1,840 <->
アジア	売上高	8,483	9,341	10,000	659 <107.1%>
	セグメント利益	1	132	150	18 <113.6%>

※ セグメント利益(営業利益)



現状の事業環境

 中央化学株式会社

現状の事業環境

1. 国内事業の取組み

2. 中国事業の取組み

1.国内事業の取組み

国内事業の 取組み

1.国内事業の取組み：国内の業界環境①

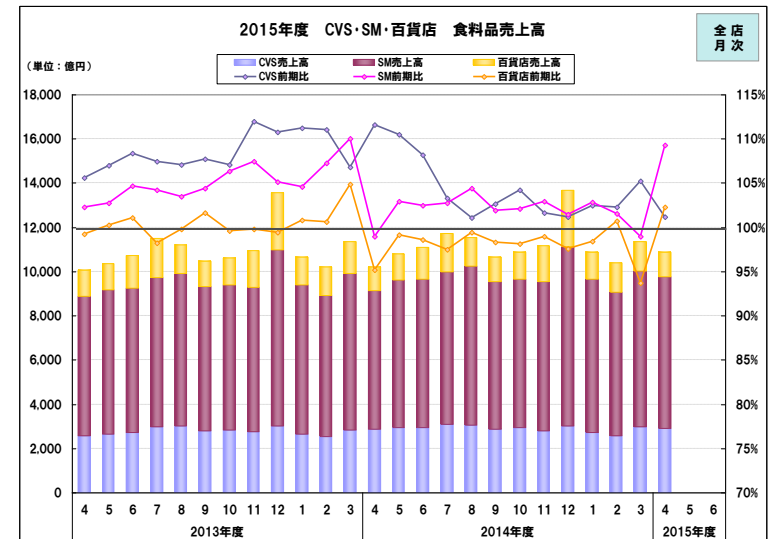
1. 消費税増税後の消費回復は鈍い
2. 消費者の消費動向、二極化傾向が顕著に
3. 業態間の競争激化(スーパー、コンビニ、ドラッグストア等)
4. 円安進行により輸入品を中心に物価は上昇懸念

■ 消費者物価指数は上昇率が3%を超える。



出所：日本経済新聞記事(2つの「物価」、潜む節約志向)

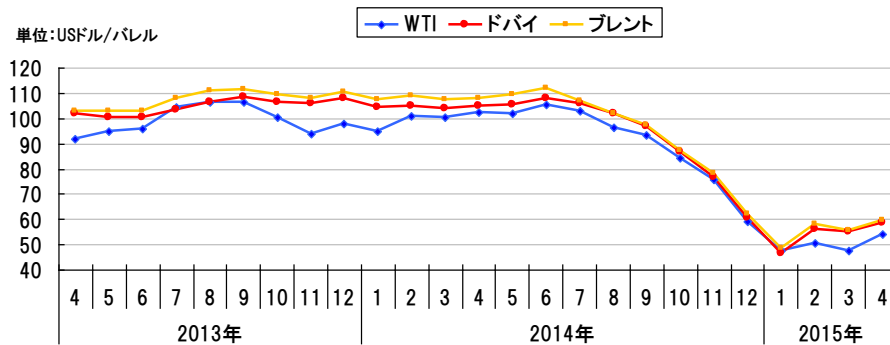
- コンビニの食料品売上げの伸びが足元で鈍化。
- 消費税増税後、落ち込んだスーパーの食料品売上げは回復基調も力強さに欠ける。
- 百貨店の食料品売上げは回復基調。



出所：CVS …フランチャイズチェーン協会販売統計(日配食品)
SM …チェーンストア協会販売統計(食料品売上高)
百貨店…全国百貨店協会売上高概況(食料品売上高)

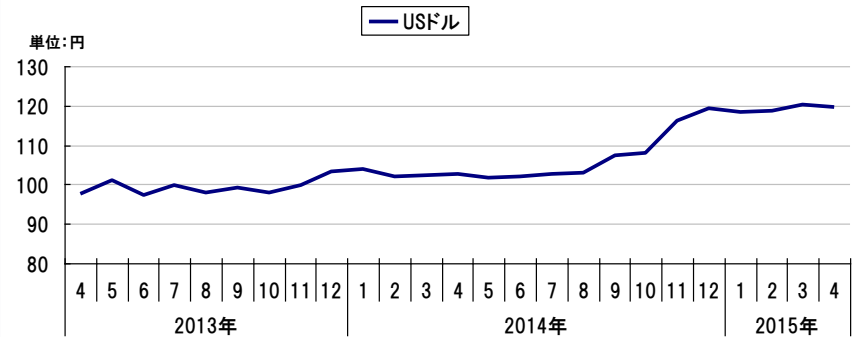
1.国内事業の取組み:国内の業界環境②

2013年～ 原油価格の推移 (月次)



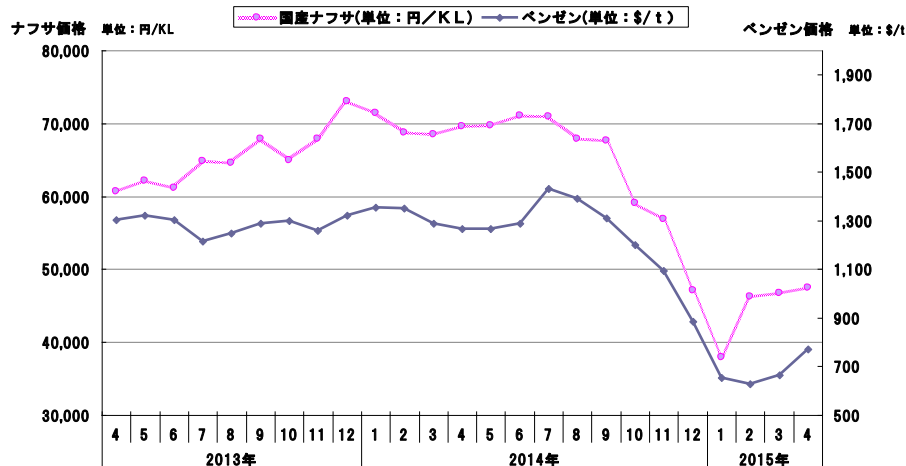
出所:Principal Global Indicators

2013年～ USD/円の為替レートの推移 (月次)



出所:IMF-Primary Commodity Prices

2013年4月～ ナフサ・ベンゼン価格推移 (月次)



出所:自社の集計データ

■一時的な原材料価格低下により、ユーザーからの価格引下げ要求が強まる可能性。



■原油価格は1～3月を底に、下落から反転・上昇の見通し。
■需給および円安進行から、原材料価格は上昇へ。

1.国内事業の取組み:国内の業界環境③

- 人口・世帯構造、ビジネス環境、消費者意識の変化をふまえた新規市場開拓
- 容器市場全体は微増

新事業開拓の方向

小売事業の方向性

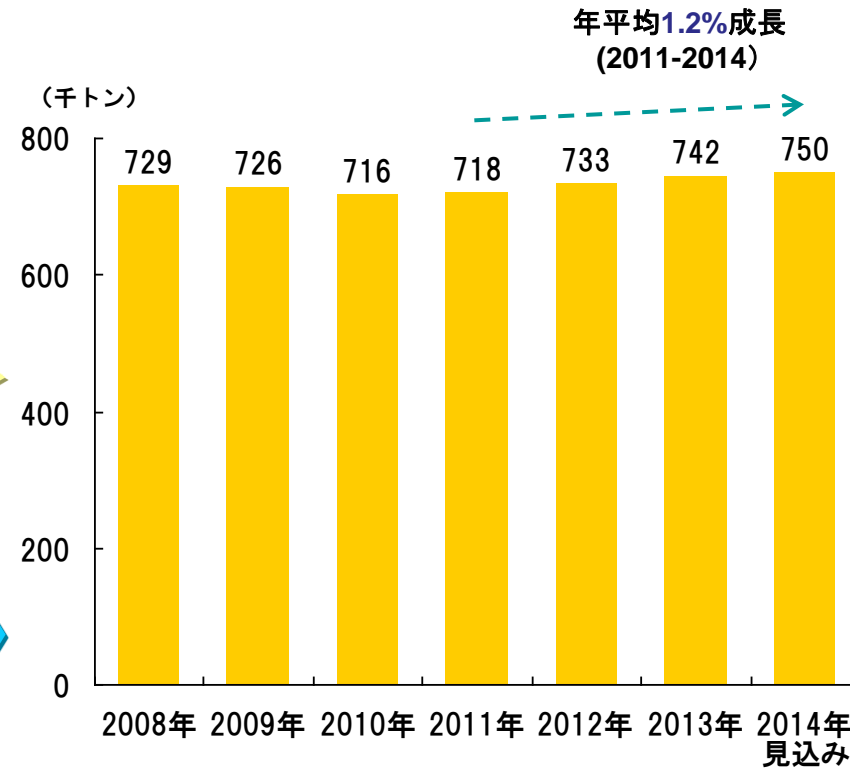
- 宅配・ネットスーパー
- 小商圈対応の小型店
- 地域性への対応の強化
- PB商品
- 買物支援
- 食品ロス削減

6次産業の成長

卸売事業の方向性

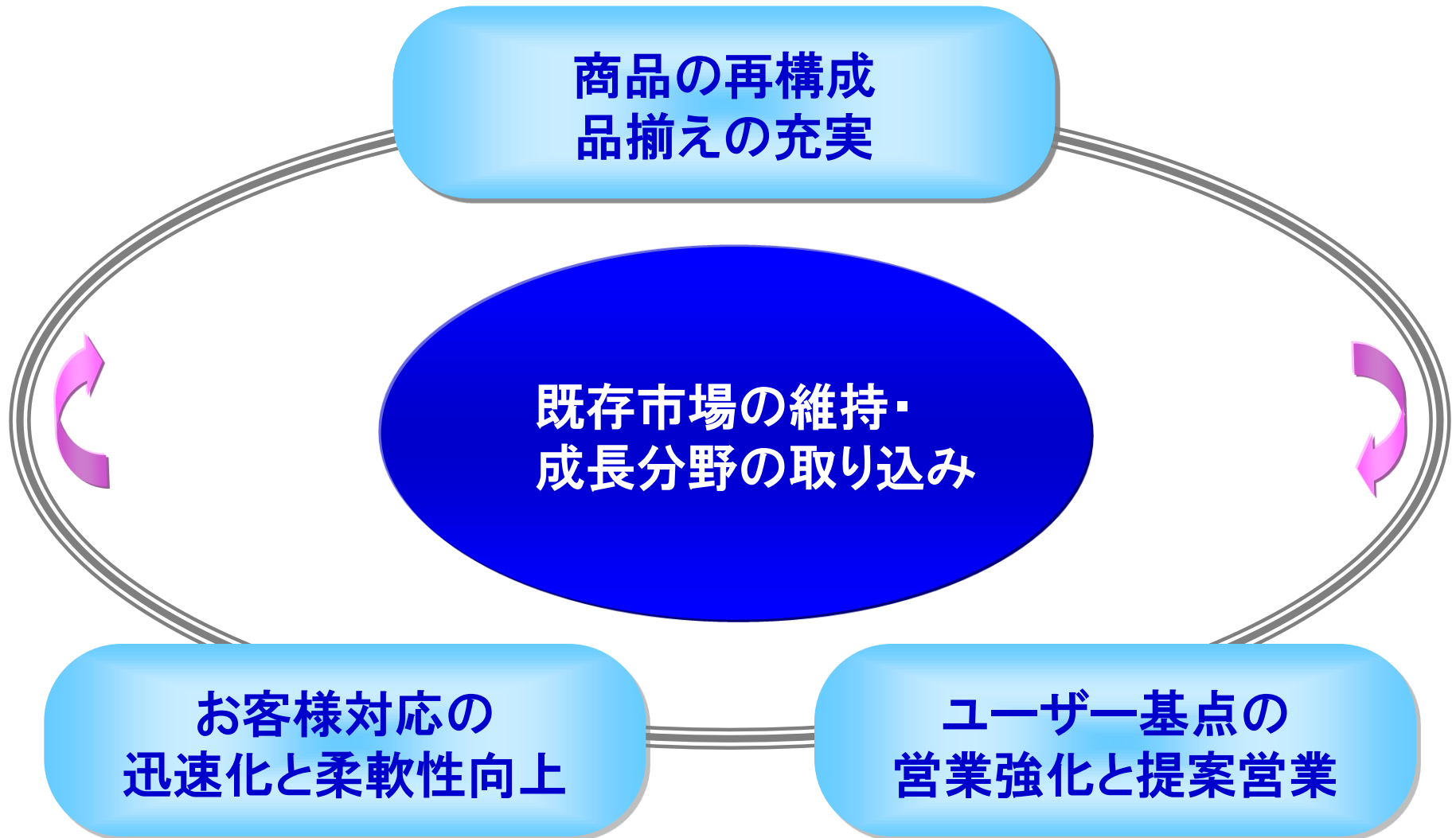
- ケア付きマンション等への商品供給
- 業種店等への商品供給
- 住民設置の販売所等への商品供給
- 料飲店等へのC&C(キャッシュ&キャリー)卸売

プラスチック軽量容器市場規模推移



出所: 矢野経済研究所レポートや、日本フランチャイズチェーン協会、富士経済、農林水産省、日本冷凍食品協会などの公表情報より作成

1.国内事業の取組み:基本戦略



1.国内事業の取組み:自律自走(施策の徹底)



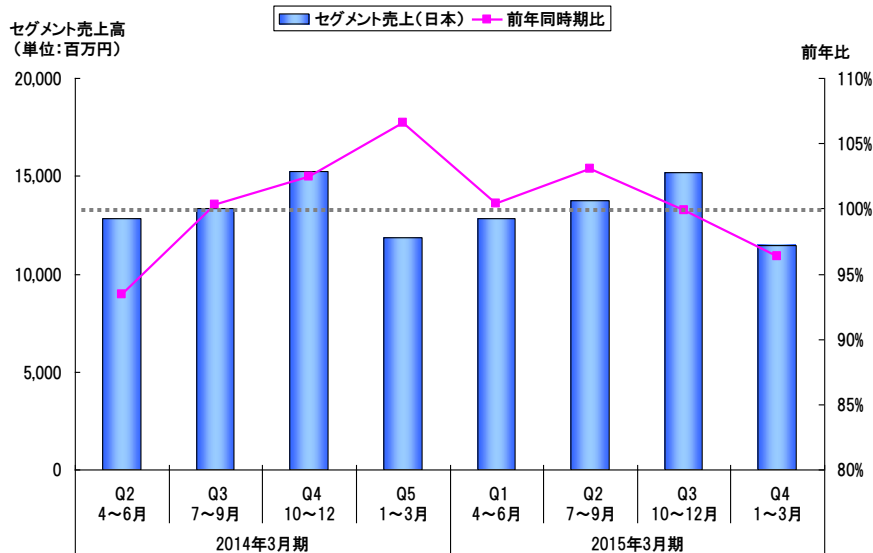
スピードと創造力で、拡販・収益向上を目指す

1.国内事業の取組み:施策効果の浸透

足元の業績は着実に回復

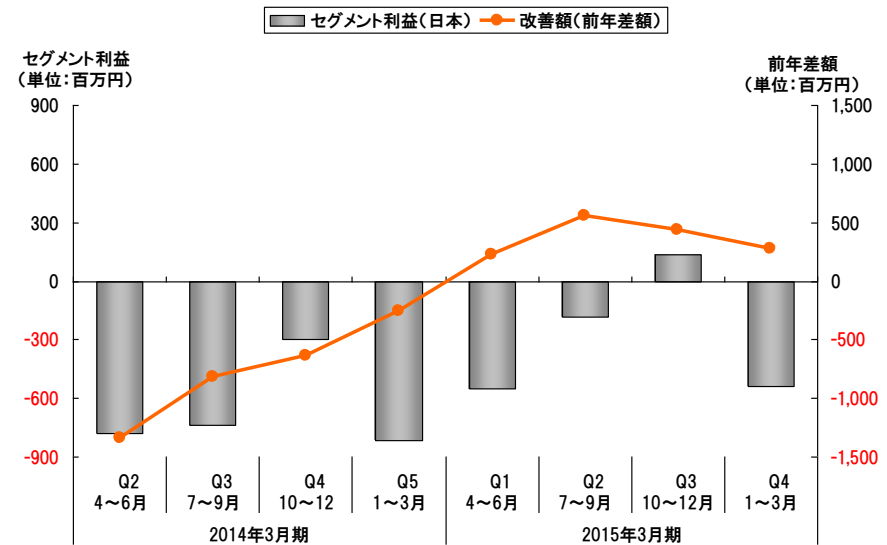
国内事業・売上高推移表

2014/3期～2015/3期・日本国内・売上高推移表



国内事業・利益改善額推移表

2014/3期～2015/3期・日本国内・利益改善額推移表



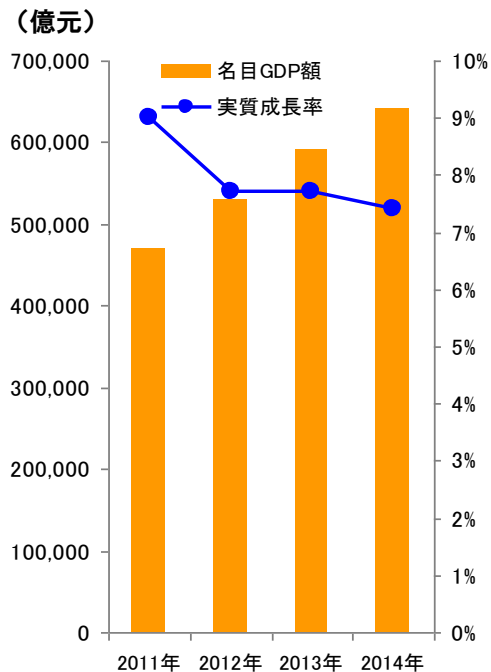
2.中国事業の取組み

中国事業の 取組み

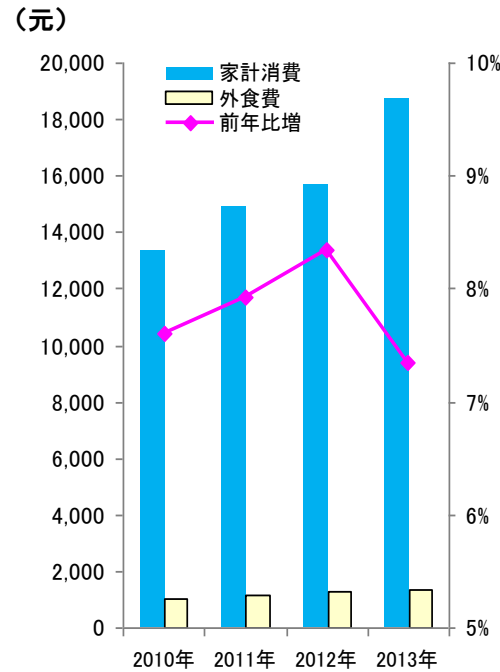
2.中国事業の取組み:中国の事業環境

1. 経済成長率は鈍化しているが、中国の都市部では着実に外食が生活スタイルに定着。
2. 外食産業は着実に成長し、既に日本(30兆円)の1.5倍程度。
3. 国家質素儉約政策により外食産業は高級化から大衆路線化、食品包装容器業界に追い風。

GDP成長率

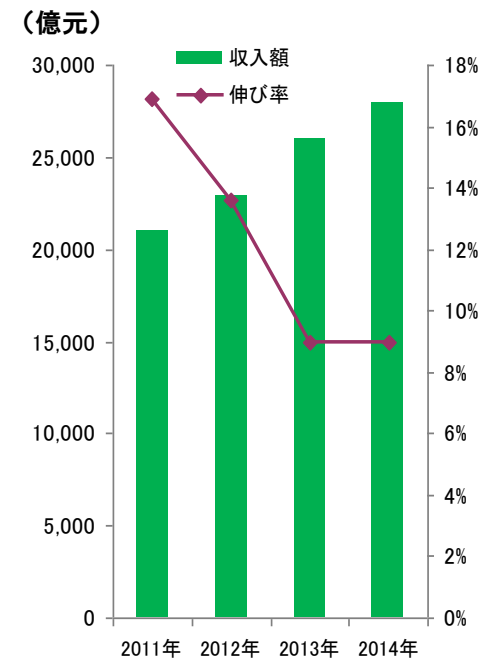


都市部の一人当たり外食費と家計消費に占める比率



(2014年は未発表)

飲食産業の収入額



2.中国事業の取組み:ビジョン

「オール中国中央」の総合力を活かし、継続的拡大を目指す



①海城中央化学有限公司
中国東北市場での展開
原材料供給基地
韓国向けの輸出など



②北京雁栖中央化学有限公司
京・津・塘、首都商圏の対応
中国華北市場での展開



③無錫中央化学有限公司
海外向けの輸出
上海中央と連携し華東市場での展開



④上海中央化学有限公司
長江デルタ商圏の対応
無錫中央と連携し華東市場での展開



⑤東莞中央化学有限公司
珠江デルタ商圏の対応
中国華南市場での展開
香港・マカオ市場の対応

管理拠点1箇所 赤
生産拠点5箇所 青
営業拠点7箇所 青、黒
(⑥香港、⑦成都は営業拠点のみ 黒)

2.中国事業の取組み:基本戦略

市場対応力の強化

- ・市場要求に対応する新製品の開発
- ・営業力向上の継続

現地化の推進

- ・中国人主導による経営体制構築の継続
- ・管理統括の強化、最善・最適化の推進

中国に於ける業界のトップ企業として、「安全・安心」のブランド力と総合力を活かし、事業規模拡大を志向

2.中国事業の取組み:施策の徹底

中国人主導による改革続行、ローコストプロデューサー追及

営業力強化

- ・提案営業強化
- ・エリア営業強化
- ・新規取引の拡大
- ・新評価制度導入

生産コスト低減

- ・生産性向上(設備導入)
- ・コスト削減、省エネ促進
- ・技術レベル向上
- ・新製品の開発推進

経営基盤強化

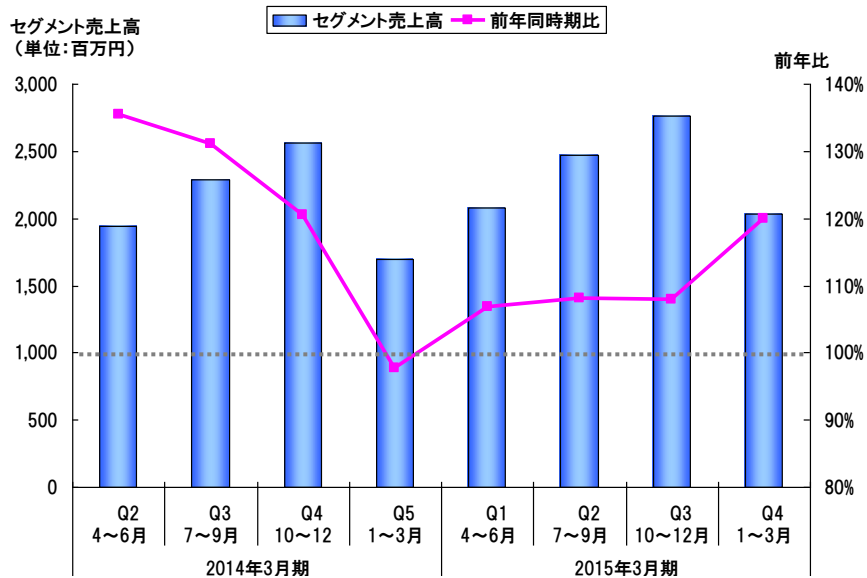
- ・ガバナンス強化
- ・業務改善
- ・合理化
- ・経費削減

2.中国事業の取組み:施策効果の浸透

足元の業績は着実に回復

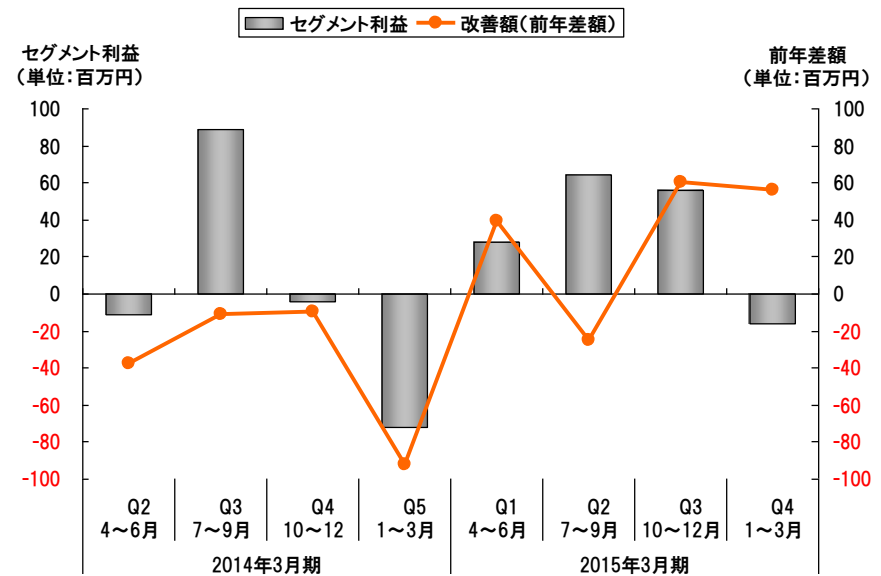
中国事業・売上高推移表

2014/3期～2015/3期・中国・売上高推移表



中国事業・利益改善額推移表

2014/3期～2015/3期・中国・利益改善額推移表



本資料は当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

資料に掲載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性及び完全性を保証又は約束するものではありませんのでご了承ください。

IRに関するお問合せ先: 管理部
電話番号: 048-540-2902